

酸素ボンベ使用時間のめやす【同調モードで使用した場合】

■ 19.6MPa (200kg/cm²) 充てんの場合

吸入流量 (L/分)	酸素ボンベタイプ				
	V1.0	V1.1	V2.0	V2.1	V2.8
	DF1020A	ALT 764J/ALT501Y 112C	ALT 765J/ALT502Y DF2020A/EHB	212C	EN/282C
0.5	19時間	21時間	38時間15分	40時間	53時間30分
1	10時間15分	11時間15分	20時間30分	21時間30分	28時間45分
1.5	7時間	7時間45分	14時間	14時間45分	19時間45分
2	5時間15分	5時間45分	10時間30分	11時間15分	15時間
2.5	4時間15分	4時間45分	8時間45分	9時間15分	12時間30分
3	3時間30分	3時間45分	7時間	7時間15分	9時間45分
3.5	3時間	3時間15分	6時間	6時間15分	8時間30分
4	2時間30分	2時間45分	5時間15分	5時間30分	7時間30分
4.5	2時間15分	2時間30分	4時間45分	5時間	6時間45分
5	2時間	2時間15分	4時間15分	4時間30分	6時間
6	1時間45分	2時間	3時間45分	4時間	5時間15分
7	1時間30分	1時間45分	3時間15分	3時間30分	4時間30分

※ 連続モードで使用した場合は、同調モードの約1/4の時間となります。

※ 連続モードは、故障、電池消耗等により同調モードでの使用ができない場合がございます。

⚠ 注意

- 使い方によって使用時間は異なりますので、自分のペースをつかんでください。
- 上記の時間はあくまでもめやすです。ご使用前には、残量を確認してください。

ご使用上の注意

- 火気を近づけないでください。
- 酸素と接触する部分に油脂類を付着させたまま使用しないでください。
- 落としたり衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温(40℃を越える)になる所には置かないでください。
- サンソセーバー5を分解、改造したりしないでください。
- サンソセーバー5を直接水がかかる所で使用しないでください。
- 外出中に事故、火災が付近であった場合にはすみやかに安全な所まで避難してください。

緊急時の連絡先

お体の具合が悪い時

油性ペンで記入してください

医療機関: _____

診療科: _____ 科

主治医: _____ 先生

TEL: _____

酸素の充てんを依頼するとき

故障や異常のとき

呼吸同調式レギュレータ

サンソセーバー[®]5

認証番号:225ADBZX00202000

操作早見表

《19.6MPa (200kg/cm²) 版》

サンソセーバー5

元栓

酸素ボンベ

カニユーラ

この操作早見表は、外出先等で参照していただくために、取扱説明書の中の**操作**に関する部分を抜粋したものです。ご使用前には**取扱説明書**をお読みください。

サンソセーバー5の操作に関する動画を掲載しています。

帝人ファーマ 一般

検索



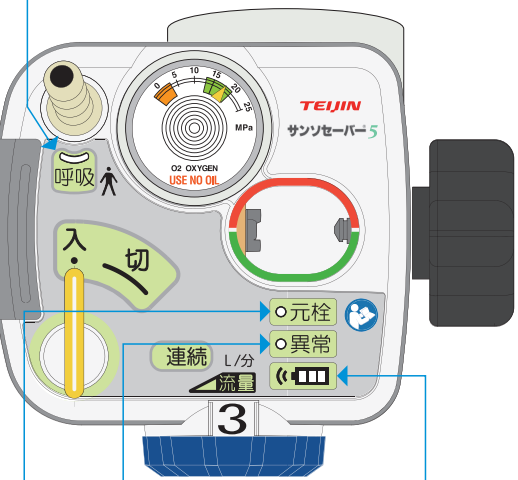
製造販売業者 帝人ファーマ株式会社

医療機器

THC-HOT009-TB-2403-4
2024年3月改訂

TEIJIN

呼吸確認ランプ



異常ランプ

元栓確認ランプ

電池残量確認ランプ

状態

	異常ランプ(赤)が点滅し、「ブー」と連続して警報が鳴っている。
	元栓確認ランプ(赤)が点滅し、「ブップ、ブップ」と警報が鳴っている。
	呼吸確認ランプ(赤)が点滅し、「ブーブー」と警報が鳴っている。
	「ブーブップ」と警報が鳴っている。
	運転スイッチを「切」にした後、元栓確認ランプ(赤)が点滅し、「ブーブップ」と警報が鳴っている。
	電池残量確認ランプ(赤)が点滅し、「ブップ、ブップ」と警報が鳴っている。
	電池残量確認ランプ(赤)が点滅し、「ブー」と連続して警報が鳴っている。
ランプや警報音が瞬間的についたり消えたりを繰り返す。	

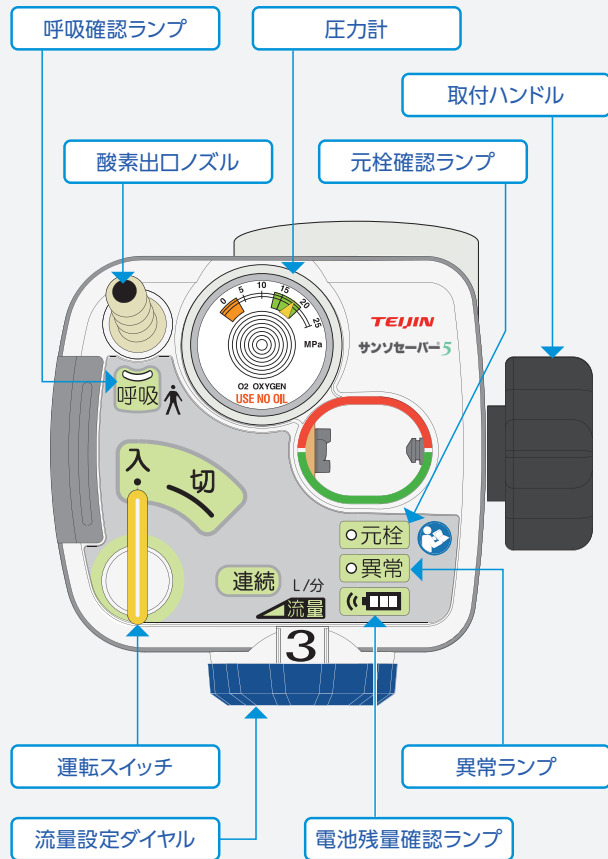
原因

カニユーラが折れたり、つぶれたりしていませんか。カニユーラに異常がない場合は、装置内部の異常が疑われます。
酸素ボンベが空になっていませんか。
酸素ボンベの元栓は開いていますか。
カニユーラから酸素を吸っていますか。鼻からでなく口で呼吸していませんか。
カニユーラが外れたり、折れたり、つぶれたりしていませんか。
流量設定ダイヤルが数字の中間で止まっていませんか。
元栓が開いたままになっていませんか。
電池が消耗していませんか。
電池が消耗しており、同調モードでの動作ができない状態になっていることが考えられます。

処置

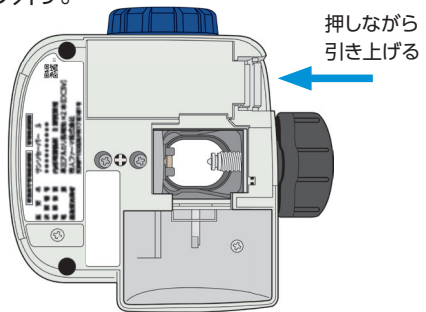
カニユーラが折れたり、つぶれたりしていないことを確認してください。解決しない場合は、裏表紙の「連絡先」にご連絡ください。
充てん済み酸素ボンベに交換してください。
酸素ボンベの元栓を開けてください。
カニユーラを正しく鼻腔に装着し、鼻から息を吸ってください。
カニユーラを点検し、正しく装着し直してください。
流量設定ダイヤルを処方流量の数字に合わせてください。
元栓を閉めてください。
乾電池を交換してください。
直ちに乾電池を交換してください。新しい乾電池が手元がない場合は連続モードでお使いください。

サンソセーバー5 各部の名称

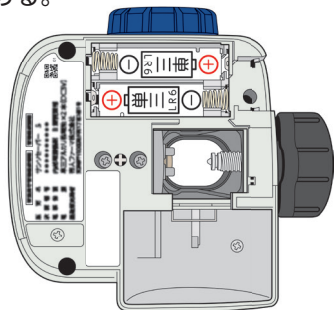


乾電池の交換

- 1 サンソセーバー5を裏返して持ち、電池ぶたの突起を指で押しながら上側に引き上げ、電池ぶたを取り外す。



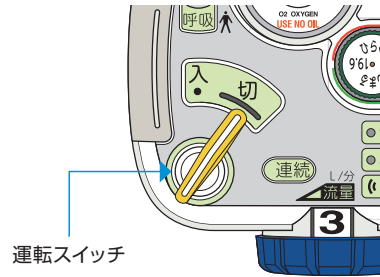
- 2 乾電池の⊕を間違えないよう、ケース内の表示を見ながら乾電池を交換。乾電池はマイナス方向から挿入する。
乾電池を交換した後は、電池ぶたをしっかりと閉める。



吸入の開始（同調モード）

ご使用前に酸素ポンベの残量やサンソセーバー5の電池残量を確認の上、使用を開始してください。

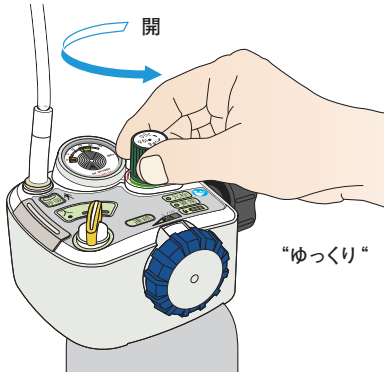
- 1 運転スイッチが「切」の位置にあることを確認する。



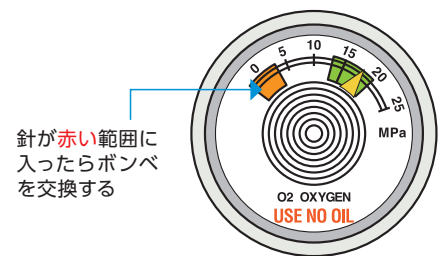
運転スイッチの正しい位置



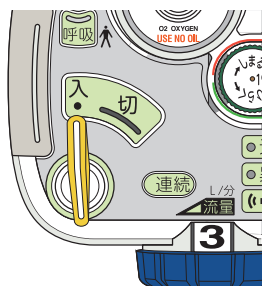
- 2 酸素ポンベの元栓をゆっくり開ける。



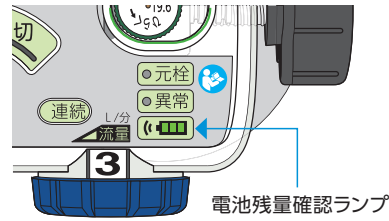
- 3 酸素ポンベの酸素残量を圧力計で確認する。



- 4 運転スイッチを「入」に合わせる。



- 5 電池の残量を確認する。
※電池残量確認ランプは運転スイッチを「入」にした後、およそ15秒点灯します。

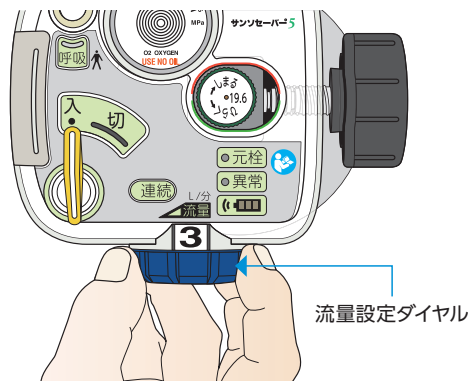


電池残量確認ランプの見かた

- 電池残量は十分です。
点灯
- 電池が減ってきています。新しい乾電池をご用意ください。
- 電池残量はわずかです。乾電池を交換してください。
- 電池が消耗しました。ただちに、乾電池を交換してください。
(同調モードでの動作ができません。)

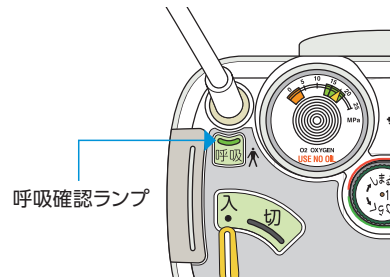
※乾電池を交換するときは、2本とも単3形アルカリ乾電池の新しいものをお使いください。

- 6 流量設定ダイヤルを医師に処方された数字に合わせる。



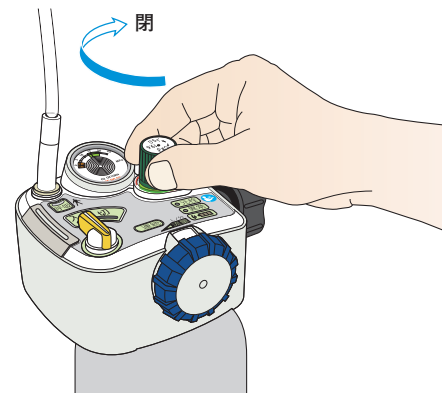
- 7 カニューラを装着して鼻で酸素を吸入する。

- 8 呼吸に合わせて呼吸確認ランプが緑に光ることを確認する。

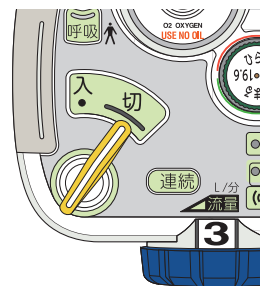


吸入の停止

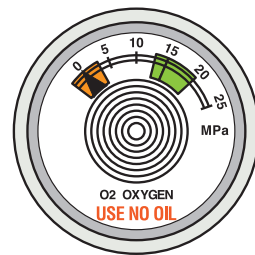
- 1 酸素ポンベの元栓を閉じる。



- 2 カニューラから酸素が出なくなったことを確認した後、運転スイッチを「切」に合わせる。

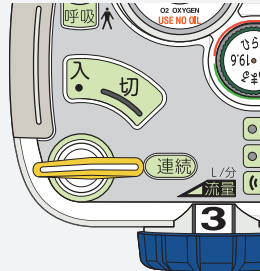


- 3 圧力計の針が0になっていることを確認した後、カニューラを外す。



圧力計の針が0になっていない場合

- 1 運転スイッチを「連続」の位置に合わせて、サンソセーバー5内に残っている酸素を抜く。

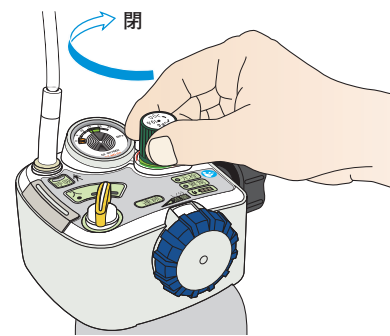


- 2 圧力計の針が0になったことを確認する。

- 3 カニューラから酸素が出なくなったことを確認した後、運転スイッチを「切」の位置に合わせる。

サンソセーバー5の取り外し

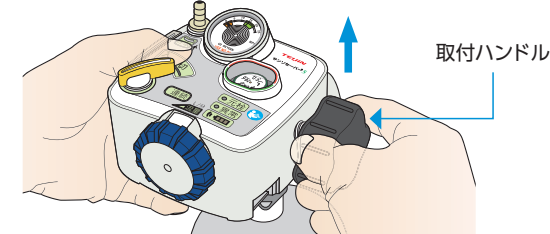
- 1 酸素ポンベの元栓が閉じていることを確認する。



- 2 圧力計の針が0になっていることを確認する。

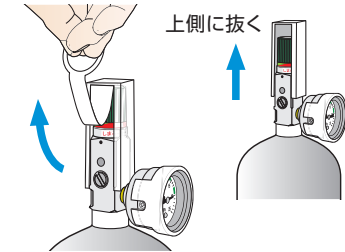
- 3 カニューラを取り外す。

- 4 サンソセーバー5の取付ハンドルを左に回してゆるめ、酸素ポンベから外す。

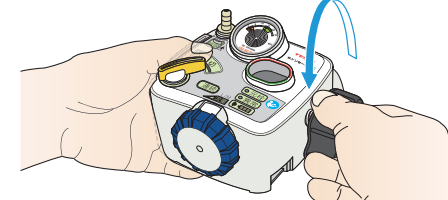


サンソセーバー5の取り付け

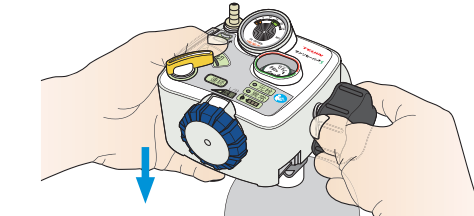
- 1 充てん済み酸素ポンベの封印キャップを取り外す。



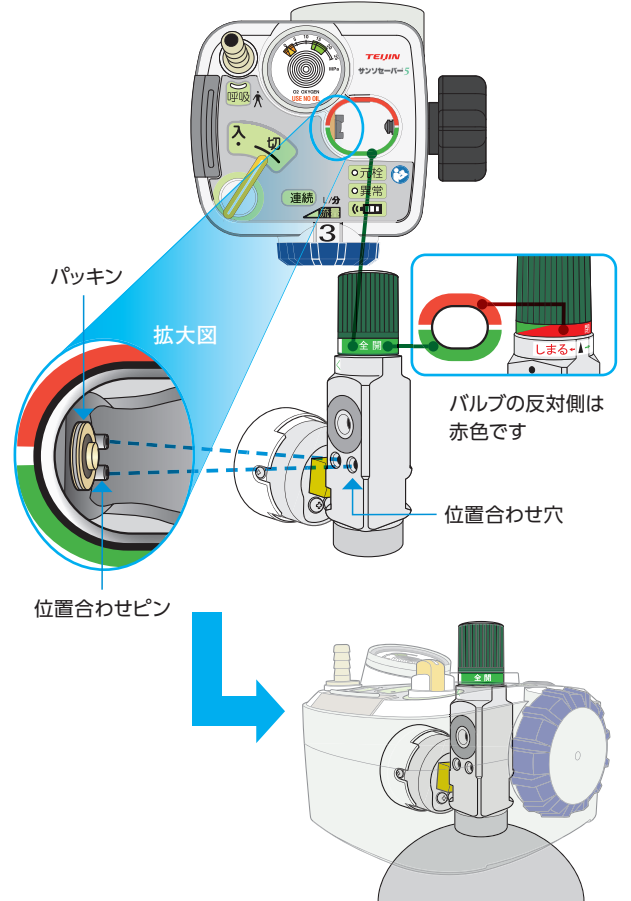
- 2 取付ハンドルを左に回してゆるめる。



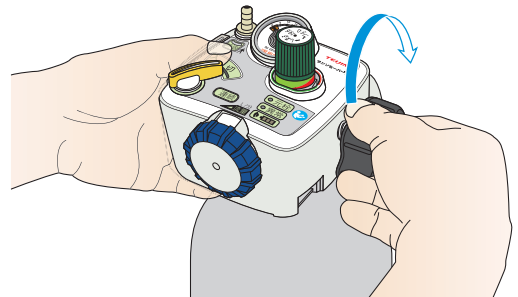
- 3 充てん済み酸素ポンベにサンソセーバー5を両手で取り付ける。



- 4 酸素ポンベのバルブ本体の位置合わせ穴に、サンソセーバー5の位置合わせピンが合うように取り付ける。
サンソセーバー5の緑/赤の印と、バルブ本体の緑/赤の印が合う方向が正しい取付方向です。



- 5 取付ハンドルを右に回し、十分に締め付ける。



- 6 酸素出口ノズルにカニューラの端を十分に差し込む。

